

空飛ぶ翼竜と赤ちゃん恐竜を紙で作ろう！

自然環境研究オフィス

柴山元彦・香川直子・藤原真理・平岡由次

今年の7月に、岩手県の久慈で国内では最大の翼竜の化石（約8500万年前）が見つかったと発表されました。空を飛ぶ爬虫類の翼竜化石は日本では6例目です。日本の空にも翼竜がたくさん飛び回っていたことでしょう。

以前は日本には恐竜はいないと思われていました。しかし、1979年に岩手県で見つかって以後、現在では、15都道府県の約30箇所で恐竜化石が見つかっている。昨年も鹿児島県、兵庫県、福井県で新しい恐竜が見つかっています。翼竜は恐竜ではありませんが、“空飛ぶ恐竜”とよく呼ばれています。

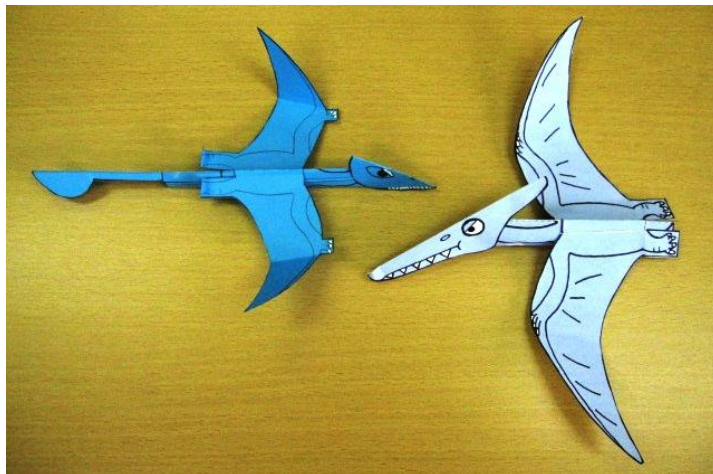
今年は、この翼竜2種類を紙で作って飛ばしてみましょ。また卵から出てくる恐竜の赤ちゃんも紙で作ってみましょ。



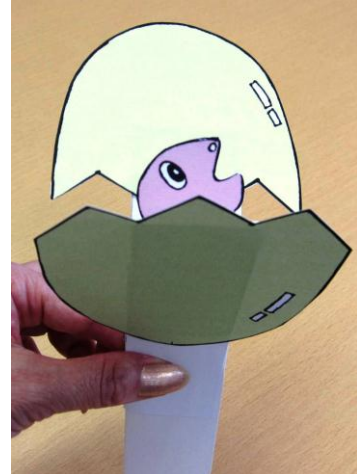
空を飛ぶ翼竜（ひたちなか市HPより）



地上を歩く翼竜



①. 飛ぶ翼竜2種類



②. 卵から出てくる恐竜

<作業>

翼竜①と卵から出てくる恐竜②の作り方

- ① 型紙を切り取り、のりしろの部分張り合わせて翼竜を完成させる。ストローを差込み吹くと翼竜が飛ぶ。
- ② 型紙を切り取り、のりしろの部分張り合わせて恐竜の卵と赤ちゃんを完成させる。卵の部分と恐竜の赤ちゃんの部分を取り付け、下から押し上げると卵が割れて赤ちゃんが出てくる。

参考図書：「さあ 化石を探しに行こう」自然環境研究オフィス編（2007年）遊タイム出版

「化石探し」大阪地域地学研究会編（2010年）東方出版

連絡先：自然環境研究オフィス（06-6773-3308）